

特別支援教育だより

令和6年5月29日（水）

かけはし

発行：南城市立船越小学校
特別支援校内委員会



今年度が始まって、約2か月が過ぎましたが、お子さんの様子はいかがですか。新しい環境にも慣れてきたお子さんの様子から、安心したり、少し気になることがあったりしませんか。

- ・学習で極端に苦手な分野（漢字を覚える・書くこと・音読・計算）がある。
- ・自分の興味のあることばかり話して、会話がかみ合わない。
- ・個別での学習は問題ないが、集団での授業で困り感がある。
- ・こだわりが強く、些細なことで怒り、気持ちや行動の切り替えが難しい。
- ・友達とうまくコミュニケーションがとれない。

（トラブルをおこす・孤立しやすい等）

学校生活の場において困っているお子さんに対して、個々の教育的ニーズを把握し、適切な支援をしていくことが大切です。

船越小学校の取り組み

- 校内支援委員会において、支援を要する児童に対しての適切な支援の在り方を検討しています。
- 支援の対象となった児童に対して「個別の教育支援計画」を作成し、実態にあわせた支援を行っています。
- 子ども達が安心して学校生活を過ごせるよう生活支援を特別支援教育支援員が行っています。
- 保護者との教育相談を通して家庭と学校の連携をサポートします。
- 医療や福祉、教育センターなどの専門機関の紹介を行います。

みんな一人ひとり違っていて、それぞれに輝きを持っています。
船越小学校では、子ども達全員が「特別」で大切な存在として捉えています。みんなで「支援」していこうという考え方の取り組みをこれからも行っていきます。



南城市の就学支援について

南城市では、令和7年度(次年度)の就学に向けた就学支援が始まります。就学支援とは、お子さんの将来における生活面及び社会的な自立を最終目標に見据え「最も望まし就学環境」はどこかを南城市就学支援委員会で検討し、総合的に判定します。(特別支援学級への入級、通常学級への措置替え、通級指導教室への申請など)

《就学支援の流れ》

①就学に関する相談

・「就学について相談をしたい。」旨を担当、または、特別支援コーディネーターにご連絡ください。
お子さんの学校と家庭での様子を照らし合わせ、就学の審議を依頼するか相談します。

②南城市就学支援委員会への依頼準備

・南城市就学支援委員会へ提出する申請の記入・お子さんの実態把握のための検査等。
申請書類の学校締め切り日……継続の場合 6月14日(金)※締め切りが早くなっています。

新規・措置変更の場合 7月17日(水)

※中学校進学の場合は、新規申請になります。

③南城市就学支援委員会から派遣された調査員が、児童の行動観察及び保護者面談を行います。(9月ごろ)

④南城市就学支援委員会審議 (10月)

・南城市就学支援委員会がお子さんにとって、最も望ましい教育環境を総合的に判定します。

⑤審議結果通知と最終判断(11月)

・南城市教育委員会から南城市就学支援委員会での審議結果を通知します。
・審議結果をご覧になり、学校とよく相談し、保護者が最終判断を行います。

【こんな就学があります】

- 通常学級………大きな集団で、一斉指導が中心の学びの場です。
- 通級指導教室……通常学級に在籍し、通常学級で学習を行いながら、一人一人の課題に応じて、その改善に向けた指導(自立活動)を行います。
船越小学校では、チャレンジ教室と呼ばれています。
- 特別支援学級……学校内に設置されていて、お子さんの教育的ニーズに応じて、少人数で個別の指導計画に沿って学習を進めることができる場です。
船越小学校では、SSEと呼ばれています。
- 特別支援学校……ゆとりのある時間割が組まれている学校です。
専門性が高く、個々に合わせたきめ細かい指導が行われる場です。

※就学先は、毎年見直しができます。 就学支援について、もう少し詳しく知りたい方は、 早めに担任か特別支援コーディネーターまで連絡ください。